

平成 27 年度

南アルプス市教育委員会
点検及び評価報告書

【平成 26 年度事務事業分】

平成 27 年 8 月

南アルプス市教育委員会

目次

I	点検及び評価について	1
1	趣旨	
2	点検及び評価の対象とした事務	
3	評価の点数表	
II	点検及び評価のまとめ	2
1	教育委員会の活動に対する点検及び評価シート	
2	教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価シート	
III	教育委員会の活動についての点検及び評価	
1	教育委員会の活動状況	7
2	教育委員会の活動に対する点検及び評価	11
IV	教育委員会事務局の事務事業についての点検及び評価	
1	教育委員会事務局の事務事業について.....	13
2	第1次南アルプス市総合計画 体系（教育委員会関係抜粋）	14
3	教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価について.....	15

I 点検及び評価について

1 趣 旨

南アルプス市教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書を作成し、南アルプス市議会に提出するとともに、市民の皆様に公表しております。

これは、教育委員会の責任体制を明確化するため、平成 19 年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正において義務付けられたものであります。

南アルプス市教育委員会では、自らが点検及び評価を行ったこの結果を今後の事務の執行に反映し、効果的な教育行政を推進して参ります。

2 点検及び評価の対象とした事務

(1) 教育委員会の活動に関する点検及び評価

委員自らが教育委員会活動の内容を振り返り、評価を行った上で評点し、意見を記載しました。

(2) 教育委員会事務局の事務事業についての点検及び評価

南アルプス市では第 1 次南アルプス市総合計画の進行管理を行なうための手法として、行政評価システムを取り入れ、すべての事務事業に対して「事務事業マネジメントシート」を作成し、内部評価を実施しております。

今回の点検及び評価に関しては、この行政評価システムを活用し、南アルプス市教育委員会に属する事務事業の執行状況等について振り返り、取りまとめを行いました。

ただし、事業選択や予算規模に自由裁量がない「国・県の制度による義務的事業」や「義務化されている協議会等の負担金に係る事業」については、対象外としております。

- | |
|------------------------------|
| ① 点検及び評価した事務事業：172 事業 |
| ② 点検及び評価から除いた事務事業：71 事業 |
| (内訳) ・義務的事業：30 事業 |
| ・義務化されている協議会等の負担金に係る事業：41 事業 |

3 評価の点数表

評価の点数は、「5」から「1」までの 5 段階評価で行いました。

5	目的をはるかに超え達成、他への波及効果などが見られる。
4	目的以上に達成
3	目的どおり達成
2	目的までは達成できなかった。
1	目的までまったく達成できなかった。

II 点検及び評価のまとめ

1 教育委員会の活動に対する点検及び評価シート（11 ページ）・・・ 評点平均 : 3.4

教育委員会の定例会を12回、臨時会を2回開催しました。会議では、規則等の制定改廃のほか、教育委員会事務局及び学校その他教育機関の職員の任免などを行いました。特に、市単独で実施している講師等については、34名を配置し、少人数教育や特別支援等、児童生徒の実態に即した指導ができるよう配慮しました。

また、教育委員会の所管に属する各種委員会等の委員の選任については、適任者を推薦、選任することができました。

さらに、教育委員会事務局においては、限られた時間で効率的な会議運営を図るため、議案や資料については事前配布に努めました。

なお、研修会等への参加や学校訪問については、教育行政上の課題への対応、学校現場の現状と課題の把握ができたので、今後も充実させたいと考えています。

2 教育委員会事務局の事務事業についての点検及び評価シート

(1) 基本政策 : I. 情報と連携の都市づくり

①政策 : 04. 国際交流・地域間交流活動の推進

②施策名 : 06. 交流活動の推進（15 ページ）・・・ 評点平均 : 3.0

「青少年対策事業」の国内交流・交流支援事業では、夏休みの期間を利用し、津別町（北海道）、小笠原村（東京都）及び穴水町（石川県）の子どもたち同士の交流を行いました。いずれの地域の子どもたちとの交流においても、相手先の地域を知ること、改めてふるさとの良さを発見できたとともに、お互いの地域を認め合い、子ども同士の友情も育まれたと感じています。

(2) 基本政策 : IV. 快適で心のかよいあう都市づくり

①政策 : 17. 社会福祉の充実

②施策名 : 28. 児童福祉の充実（15 ページ）・・・ 評点平均 : 3.0

「市立幼稚園就園奨励費支援事業」は、家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的に、本市に在住で、幼稚園に在園する幼児をお持ちの保護者に対し、保育料の減免又は補助金の交付をしています。

(3) 基本政策 : V. 個性と文化を育む都市づくり

①政策 : 22. 生涯学習ネットワークの設備充実

②施策名 : 35. 生涯学習システムの推進 (15 ページ) **評点平均 : 3. 4**

「公民館運営」では、公民館の館長、主事が中心となり、地域の実情にあった公民館活動を実施しました。

また、「生涯学習推進事業」では、数多くの学習機会の提供や、自主的な学習の支援に努めました。今後も、生涯学習課、文化財課、市立図書館、市立美術館と連携した講座や講演会を開催していきたいと考えています。

「各種社会教育施設」では、直営施設及び指定管理者制度導入施設ともに、効率的な管理運営に努めました。

「市立図書館」では、「ブックスタート」、「おはなし会」など、子どもたちが小さいときから読書に親しみ、読書習慣を身につけられるような事業を展開しました。また、一般向けには、「シニア講座」、「歴史講座」、「ビジネス支援講座」などを開催し、市民の幅広いニーズを支援しました。11 月には図書館システムの更新を行い、ホームページからの資料の貸出延長サービスを開始し図書館の利便性向上に繋げるとともに、グーグルプラスにより図書館の最新情報を毎日発信しました。

「市立美術館」では、毎年好評を得ている絵画コンクールを開催し、企画展では「竹田鎮三郎展」を開催しました。企画展の入館者数は 2,422 名であり、前年度の企画展入館者数とほぼ同数でありました。今後も、質も高い芸術・文化に接することができるような企画展の開催を計画していきます。

(4) 基本政策 : V. 個性と文化を育む都市づくり

①政策 : 23. 学校教育の充実

②施策名 : 36. 「生きる力」を生む学校教育の推進 (19 ページ) . **評点平均 : 3. 2**

「市単講師派遣事業」では、34 名の市単講師を小中学校へ配置し、多人数学級対応と複式学級の解消及び特別支援教育推進、基礎学力の向上、一人ひとりの特性に応じたきめ細かな指導等への対応を図りました。特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあることから、今後も、教育支援センターを含めた体制の整備充実を図ってゆきます。

「学校給食費支援事業」では、小中学校へ 3 名以上の子どもが通っている保護者 249 名に対し助成を行いました。また、「各学校給食」においては、児童・生徒のアレルギー食への対応や食育指導に努めました。なお、給食費の未納については教育的配慮をし、督促をしながら給食費の徴収を行いました。また、児童手当を受けていながら給食費を滞納している保護者からは同意を得た上で、児童手当からの徴収を進めました。

「育英奨学会事業」においては、適正な事務の執行に努め目的に合致した奨学生の選考を行いました。

「就学援助事業」においては、小中学校に通う経済的に恵まれない児童・生徒への適切な支援を行っており、618名に対して支援を行いました。

「教育支援センター事業」では、学校へ登校することが困難な児童生徒が通う適応指導教室を設置し、家庭や学校と連絡を取りながら学習支援、教育相談を行い、学校復帰を目指しました。

「外国語指導講師配置事業」では、小学校の「外国語活動の時間」における活用を含め小中学校に9名のALTを配置し、「聞く・話す」ことを中心に指導を行い児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることや、生の英語に触れるなかで他国の文化や外国語（英語）に親しみをもたせ、国際的な理解を深めることができたと考えます。また、小学校外国語活動研修会を実施し、小学校教職員の指導内容の充実を図ると共に、ALT指導研修も行いALTの指導内容の向上も図ることができました。

「市指定研究事業」では四つの指定校研究事業に取り組みました。一つ目は「学びの質を高める授業づくり推進事業」です。2校の指定校（若草中、白根百田小）を定め、児童・生徒が互いの考えや表現を聴き合い学ぶ合う授業作りについて研究を行いました。二つ目は「南アルプス自然体験推進事業」です。ユネスコエコパークに認定されている芦安小・中学校を指定し、南アルプスの自然を舞台とした各種の体験活動により、人間性やふるさとを愛する心を育む取り組みを行いました。三つ目は「いじめ・不登校未然防止推進事業」です。Q-Uテストや心理プログラムを実施し、支援を必要とする児童・生徒への早期対応を行いました。結果、いじめ、不登校件数も減少しました。最後は「授業改善プラン実践事業」です。諸調査を通して実態を把握し、外部講師を招いた校内研究会で課題解決に向けての手立てを探りました。

「教育の環境づくり費」では、地域の素材「小笠原流礼法」を小中学校の授業に取り入れ、心の教育の充実を図りました。また、「スクールガードリーダー事業」や地域ボランティアを活用した「学校応援団育成事業」に取り組み、児童・生徒の安全確保や学校教育活動全体の充実を図りました。さらに、「姉妹都市交流プロジェクト推進事業」では、国際化が進む中、話せる英語を身につける必要性から小学生対象の英語体験プログラム「イングリッシュキャンプ」を実施しました。参加者は、昨年度より30名ほど増加しました。

(5) 基本政策 : V. 個性と文化を育む都市づくり

①政策 : 23. 学校教育の充実

②施策名 : 37. 学校施設の整備充実 (23 ページ)

評点平均 : 3.0

「小学校・中学校施設整備事業」では、児童・生徒が安全に教育を受けられる環境を提供するため、学校からの修繕・回収要望を精査し、緊急度の高い施設から整備を実施することができま

した。今後も、子供たちの安全確保を最優先としながら、計画的・効率的な施設整備を実施してゆきます。

「学校給食施設維持管理事業」では、安全で安心な給食の提供のため衛生的な備品整備に努めました。さらに、若草給食センターや単独校方式の給食施設に代わる「新学校給食センター建設事業」でも、安全で安心できる給食が提供できる施設が建設できるよう準備を進めています。

「校舎及び屋内運動場の非構造部材耐震化事業」は、白根飯野小、白根百田小及び甲西中学校の三校を実施し、予定どおり補強工事を実施することができました。

「小学校、中学校施設災害復旧事業」では、記録的な大雪により被害を受けた学校施設（楡形北小、八田中、巨摩中、櫛中）の復旧工事を実施しました。

(6) 基本政策 : V. 個性と文化を育む都市づくり

①政策 : 24. 青少年の健全育成

②施策名 : 38. 健全育成支援体制の強化充実 (24 ページ) **評点平均 : 3. 1**

「青少年対策事業」では、青少年育成南アルプス市民会議への支援、各種子どもまつりへの支援、子どもクラブへの支援を行い、心身ともに健やかな次代を担う青少年の健全育成を図りました。また、「成人式挙行事業」においては、桃源文化会館に 709 人の新成人を招き、成人の門出を祝いました。

地域の子どものリーダーとして活躍できる子どもを育成する目的で開催している「ジュニアリーダー養成事業」においては、中学 1,2 年生を対象に月 1 回のリーダー研修を開催し延べ 217 名の参加がありました。また、夏休みには小学 6 年生を対象とした宿泊研修を実施し、52 名の参加がありました。

(7) 基本政策 : V. 個性と文化を育む都市づくり

①政策 : 25. 文化づくりの推進

②施策名 : 39. 歴史・伝統文化の振興 (26 ページ) **評点平均 : 3. 2**

「文化財保護事業」では、文化財の保護・保存と教育普及の両輪で事業を展開しています。文化財や地域の歴史をキーワードにした「文化財教育普及事業」については、平成 26 年度は 274 事業を行い、参加者数は 14,348 名でした。特に、小中学校への出前講座のニーズは旺盛で、児童・生徒には勿論、保護者にも大変好評であります。

「埋蔵文化財調査事業」では、埋蔵文化財の適切な保護に努めるとともに、総合体験型史跡めぐりや現地説明会などにより、埋蔵文化財の存在、価値の周知を図りました。また、地下の遺跡

にMナビ・AR（拡張現実）を設置してよりリアルな説明を行い、文化財をより身近に感じてもらえるような試みも始めました。

「文化財調査事務所管理費」では、ふるさと文化伝承館をはじめとして、地域の歴史的、文化的資産や資源情報等の収集保管を継続しつつ、展示や縄文・古代体験等のイベントを行い、地域文化発信の拠点としての役割を果たしました。特に、文化財案内は「ふるさとを好きになってほしいから」を合言葉に親切で丁寧な説明に心がけました。

「安藤家住宅管理費」では、国の重要文化財である施設を生かしたイベントを実施しました。入館者数は4,348名。毎年、多くの方が訪れております。今後も、地域と連携しながら創意工夫した展示・イベントを企画して参ります。

(8) 基本政策 : V. 個性と文化を育む都市づくり

①政策 : 26. スポーツ・レクリエーションの振興

②施策名 : 39. スポーツ・レクリエーションの推進 (28 ページ) ・ **評点平均 : 3. 1**

「保健体育総務管理事業」においては、市民スポーツ、レクリエーションの推進に中心的な役割を担っている南アルプス市体育協会、市内6地区の体育協会への支援や27競技団体への支援を行いました。また、市スポーツ推進委員の活動を支援しており、子どもからお年寄りまで多くの市民に向け、健康の維持増進のために気軽に参加できる市民スポーツ教室（ふれあいウォークラリー、スポレック、健康スポーツ教室等）を実施しました。特に、お年寄りを対象とした健康スポーツ教室は年間を通して開催されました。体育協会加盟団体が、県内大会を勝ち進み県外大会へ出場する場合への支援も行いました。延べ18団体を支援しました。

「スポーツ振興推進事業」では、ホッケー競技への支援、桃源郷マラソン大会への支援を行っており、特に桃源郷マラソンにおいては全国から大勢の市民ランナーを集め、盛大に開催されております。

「体育施設維持管理事業」では、直営施設及び指定管理者制度導入施設ともに、効率的な管理運営に努めました。特にB&G海洋センターはその運営が施設を整備した「B&G財団」から高く評価されているところです。

「体育施設整備事業」では、楡形総合体育館の大規模改修工事を実施しました。この改修工事によって、より利便性とんだ安全安心な施設利用が可能となりました。

III 教育委員会の活動についての点検及び評価

1 教育委員会の活動状況

教育委員会は、法律に基づき 5 人の委員で構成された執行機関であり、教育行政の中立性・安定性を確保するため、地方公共団体の長から独立して設置されています。

(※なお、法律の改正によって、平成 27 年 5 月 29 日より教育委員会の構成は教育長と 4 人の委員となりました。)

(1) 教育委員会の会議

教育委員会は、定例会を原則、毎月開催しており、合議により教育行政の基本方針や重要事項などを審議し決定しております。

また、必要があるとき、随時、臨時会も開催しております。

○開催状況・・・定例会 12 回、臨時会 2 回

開催月日 (区分)	案件 区分	件名
4 月 10 日 (定例会)	協議 事項	①南アルプス市中央公民館地区分館長及び主事の任命について ②南アルプス市美術館協議会委員の任命について
	その他	①南アルプス市教育委員会年間行事予定及び 4・5 月行事予定について ②緊急連絡網について ③指定校変更願の報告について
5 月 23 日 (定例会)	協議 事項	①南アルプス市子どもの読書活動推進協議会補充委員の委嘱及び任命について ②南アルプス市奨学金貸与奨学生の決定について
	その他	①南アルプス市教育委員会 5・6 月行事予定について ②指定校変更願の報告について
5 月 29 日 (臨時会)	協議 事項	①南アルプス市教育委員会委員長の選挙について ②南アルプス市教育委員会委員長職務代理者の指定について
	その他	①今後の日程について
6 月 13 日 (定例会)	協議 事項	①南アルプス市立小中学校における指定学校の変更等に関する取扱要綱の一部改正について
	その他	①南アルプス市教育委員会 6・7 月行事予定について ②指定校変更願の報告について
7 月 16 日 (定例会)	協議 事項	①南アルプス市立小中学校教員住宅管理規則の廃止について ②南アルプス市社会教育団体の認定について ③安藤家住宅運営委員会委員の委嘱について ④準要保護者・就学援助費の認定について
	その他	①南アルプス市教育委員会 7・8 月行事予定について ②教育委員会の点検及び評価報告書作成のための事前説明について ③要保護者、就学援助費の報告について ④指定校変更願の報告について

7月22日 (臨時会)	協議事項	①安藤家住宅運営委員会委員の委嘱について
	その他	①今後の日程について
8月13日 (定例会)	協議事項	①平成27年度使用小学校教科用図書の採択について
	その他	①南アルプス市教育委員会8・9月行事予定について ②指定校変更願の報告について
9月12日 (定例会)	協議事項	①指定校変更の認定について ②準要保護者、就学援助費の認定について
	その他	①南アルプス市教育委員会9・10月行事予定について ②南アルプス市教育委員会の点検及び評価について ③指定校変更願の報告について
10月7日 (定例会)	協議事項	①指定校変更の認定について
	その他	①南アルプス市教育委員会年間行事予定(後期)及び10・11月行事予定について ②指定校変更願の報告について
11月5日 (定例会)	協議事項	①指定校変更の認定について
	その他	①南アルプス市教育委員会11・12月行事予定について ②指定校変更願の報告について
12月4日 (定例会)	協議事項	なし
	その他	①南アルプス市教育委員会12・1月行事予定について ②指定校変更願の報告について
1月16日 (定例会)	協議事項	①南アルプス市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正について
	その他	①南アルプス市教育委員会1・2月行事予定について ②指定校変更願の報告について ③南アルプス市いじめ防止基本方針について
2月10日 (定例会)	協議事項	①指定校変更の認定について
	その他	①南アルプス市教育委員会2・3月行事予定について ②指定校変更願の報告について ③南アルプス市いじめ防止基本方針について
3月18日 (定例会)	協議事項	①地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理について ②地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係訓令の整理について ③南アルプス市教育委員会事務局組織規則の一部改正について

	④南アルプス市教育委員会事務決裁規程の一部改正について ⑤南アルプス市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の廃止について ⑥南アルプス市立小中学校における指定学校の変更等に関する取扱要綱の一部改正について ⑦南アルプス市学校応援団育成事業実施要綱の廃止について ⑧南アルプス市白根B&G海洋センター条例施行規則等の一部改正について ⑨南アルプス市ふるさと天文館条例施行規則の制定について ⑩南アルプス市働く婦人の家条例施行規則の制定について ⑪南アルプス市青少年対策事業補助金交付要綱の一部改正について ⑫南アルプス市スポーツ推進委員の委嘱について ⑬南アルプス市指定文化財の現状変更に伴う諮問について ⑭南アルプス市指定文化財の指定解除に伴う諮問について ⑮準要保護者、就学援助費の認定について ⑯準要保護者、就学援助費の認定について
その他	①南アルプス市教育委員会3・4月行事予定について ②指定校変更願の報告について

(2) 学校訪問

教育委員会では例年、市立小中学校（22校）を訪問し、子どもの様子や教員の指導方法など、細やかに見て回っています。視察終了後は、学校側と意見交換を行い、課題があれば、改善するよう助言などを行っております。

(3) 研修会等への参加

教育委員会では、各種の研修会、総会及び大会等に積極的に参加し、教育行政に関する情報収集や各市町委員との意見交換等を行い、各自の資質向上に努めています。

①中北地区教育委員会連合会

月日	件名	出席者
4月30日	平成26年度総会及び研修会	教育委員・教育長
5月26日	第1回教育長部会	教育長
6月4日	第2回教育長部会	教育長
8月19日	第1回理事会	教育委員長・教育長
11月25日	第3回教育長部会	教育長
2月18日	第2回理事会	教育委員長・教育長

②山梨県市町村教育委員会連合会

月日	件名	出席者
7月14日	第1回常任理事会	教育委員長
7月30日	第1回理事会	教育委員長
10月15日	秋季研修会	教育委員・教育長
2月10日	第2回理事会	教育委員長
2月24日	平成27年度定期総会及び春季研修会	教育委員・教育長

③県外研修

月日	件名	出席者
5月16日	関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会（長野県大会） 総会・研修会	教育委員・教育長
10月8日	中北地区教育委員会連合会 教育事情県外視察研修（静岡県静岡市、沼津市）	教育委員・教育長
11月13日 14日	南アルプス市教育委員会県外研修 福井県（福井市、坂井市）	教育委員・教育長

(4) その他各種大会・行事への出席 ※全教育委員が出席対象のみ掲げております。

月	件名
4月	○市立小中学校入学式、○南アルプス桃源郷マラソン大会
5月	○青少年育成南アルプス市民会議総会
6月	○小学生ホッケー大会、○芦安小・中学校説明会
7月	○教師力UP養成講座、○社会を明るくする運動、○市民体育祭り
8月	○健康スポーツ教室
10月	○市制祭、○ふれあいウォークラリー大会
11月	○小学生ホッケー交流大会、○市子ども若者育成支援推進大会、○芦安小中英会話科授業公開・学校説明会、○市駅伝大会
1月	○成人式、○白根百田小公開研究会
2月	○「学びの質の向上」研究発表会
3月	○健康スポーツ教室市内全体会、○スポーツラリー大会、○市立小中学校卒業式、○退職・市外転出教職員離任式

2 教育委員会の活動に対する点検及び評価

教育委員会としての自らの活動内容を「教育委員会の会議」、「教育委員会と事務局の連携」、「教育委員の自己研鑽」及び「学校・教育施設への支援」の4項目に分け、それぞれに点検項目を設け、教育委員自らがその目的に照らし、評価を行った上で評点し、意見を記載しました。

また、その他の意見シートにおいては、教育委員会事務局の活動の中で、特に気がついた点を記載しました。

(1) 教育委員会の会議

点検項目	会議の開催回数	評点	3.0
実績	○定例会 12回、臨時会 2回 ・教育委員会会議規則に基づき定例会を毎月1回開催した。更に必要が生じたため、臨時会を2回開催した。 ・限られた時間の中で、効率的な会議運営に努めた。		
評価の視点	① 議案はいずれも慎重に審議を行い、内容によっては継続審議とした。 ② 必要となる会議の開催回数は確保されている。		

(2) 教育委員会と事務局との連携

点検項目	情報提供等	評点	3.7
実績	・定例会及び臨時会時の議案又は資料は事前に配布するなど、当日までに調査研究が可能となるように、情報提供を行った。 ・その他会議等の予定を事前に把握し、可能な限り出席頂けるよう、綿密な連絡を取った。 ・参考文献等も入手後は、速やかに配布した。		
評価の視点	① 会議資料を事前に受け取ることが出来ているので、あらかじめ目を通すことができてよかった。 ② 議会の答弁準備等に関して不明な点を問い合わせても、素早く適切に対応してもらえた。 ③ 中北地区教育委員会連合会、中巨摩地区教科書採択協議会の幹事委員会として、準備や会議運営等その対応は的確かつ適切であった。 ④ 学校における充用事案については、教育長を通じて逐一報告を受けることができた。		

(3) 教育委員の自己研鑽

点検項目	研修会等への参加	評点	3.3
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会（長野県大会） 総会及び研修会に参加した。 ・ 山梨県市町村教育委員会連合会（春季・秋季）に参加した。 ・ 中北地区教育委員連合会県外研修会に参加した。（静岡県静岡市、沼津市） ・ 南アルプス市教育委員会県外研修 福井県に参加した。（福井市、坂井市） ・ その他、各種研修会、会議へ参加した。 		
評価の視点	<ol style="list-style-type: none"> ① 各種研修会には積極的に参加し、研修を深めることができた。 ② 先進地から多くのことを学ぶことができ、これから取り組むべき課題に向け、大いに参考になった。 ③ 沼津市と福井市への県外研修は、教育委員としての知見を深める上で大変有益であった。 ④ 福井県の学力の秘密は、家族の協力で支えられた家庭学習にあることがわかった県外研修は有意義だった。 ⑤ 各種研修会で行われた講演は、有益な内容であった。 		

(4) 学校・教育施設への支援

点検項目	学校訪問	評点	3.7
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内小中学校 22 校の学校訪問を行い、学校経営の取り組み状況を聴取した。 ・ 授業内容を視察し、また、給食の試食も実施する中で、学校現場と意見交換を行った。 		
評価の視点	<ol style="list-style-type: none"> ① 学校訪問は各学校の教育活動の様子や教職員、児童・生徒の実態、施設設備の現状や課題など理解するうえで大変役立った。 ② 学校の課題・児童・生徒の実態・教職員の指導力等理解することができた。 ③ 教員数やクラス数の多い学校では、ひとつの授業を 5 分刻みでの視察となるため、大変慌ただしく、また十分に視察できないくらいがある。 ④ 毎年 22 校を回らなくても、半分ずつ 2 年間で 22 校を回るやり方でもよいと思う。 ⑤ 給食の試食を児童・生徒とともにできると、更に実態の理解が深まると思う。 ⑥ 各教師の特徴を知ることができ、校長先生から直接、学校の問題点をきくことができ、また、各クラスの雰囲気、学校の雰囲気を感じることもできた。 		

(5) その他の意見シート

意見	<ul style="list-style-type: none">① 市単講師の配置は、学校教育の充実に多大に貢献している。② 研究指定校の公開研究発表会は、その成果が市内各校に共有され、日常の教育実践に大いに役立っている。③ 文化財課の歴史・伝統文化等の取り組みは、学校教育や生涯教育に多大に貢献している。④ 図書館の果たす役割は大きい。図書や資料の提供、また、市民のニーズに即した事業や講座など、幼児から高齢者に至るまで幅広く貢献している。⑤ スポーツ推進委員会や体育協会を中心としたスポーツ関係の各種大会には、多くの市民が参加し、成果をあげている。⑥ 絵画コンクールの趣旨が理解され、多くの児童・生徒が参加し、成果をあげている。
----	---

IV 教育委員会事務局の事務事業についての点検及び評価

1 教育委員会事務局の事務事業について

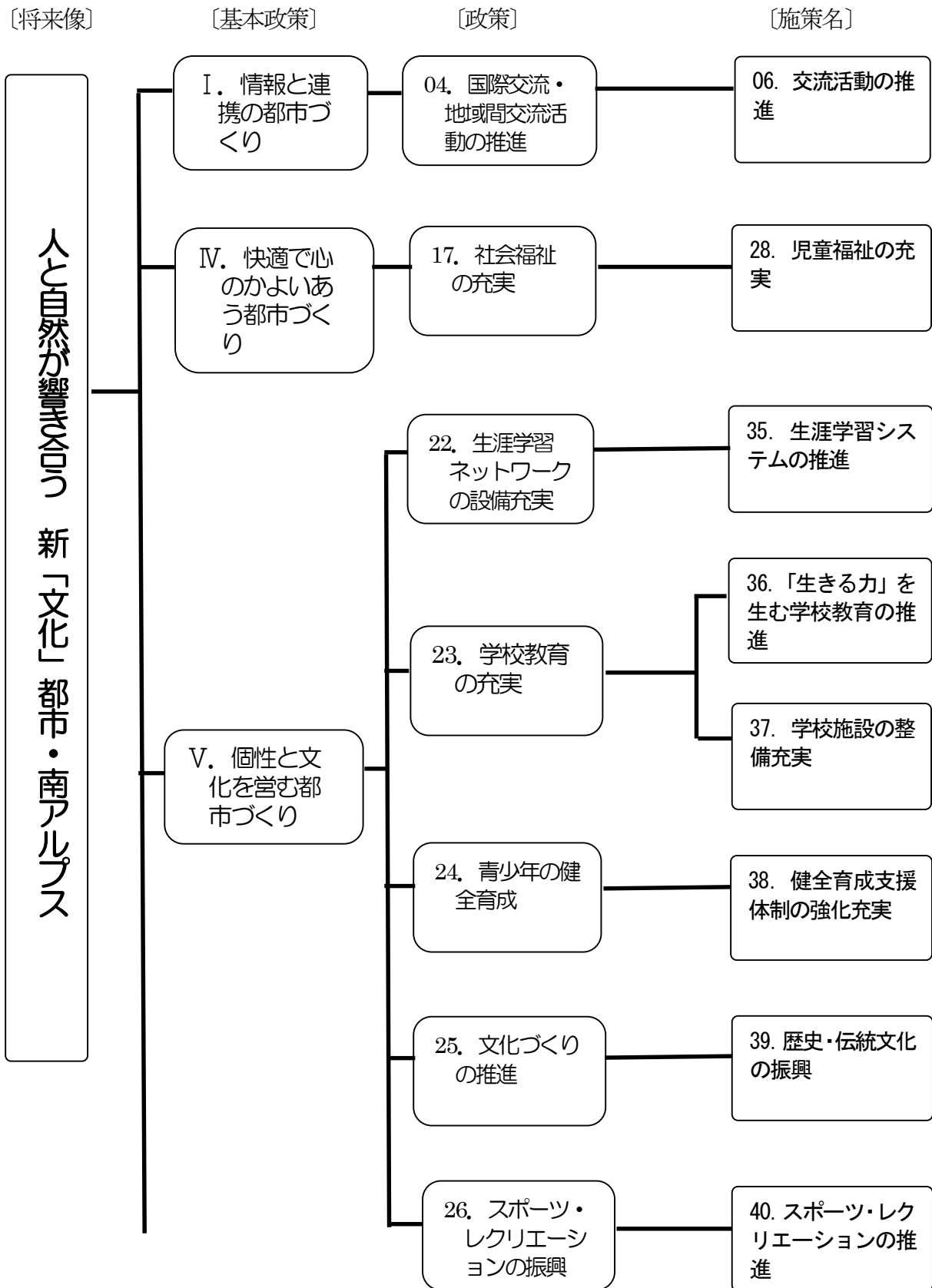
南アルプス市では、第1次南アルプス市総合計画で「人と自然が響き合う新「文化」都市・南アルプス」という将来像を掲げております。教育委員会部門においては、この将来像の実現のため、三つの基本政策が設けてあります。

一つ目の基本政策を「情報と連携の都市づくり」とし、その政策を「国際交流・地域間交流活動の推進」、施策名を「交流活動の推進」としております。

二つ目の基本政策は「快適で心のかよいあう都市づくり」であり、その政策を「社会福祉の充実」、施策名を「児童福祉の充実」としております。

最後、三つ目の基本政策は「個性と文化を営む都市づくり」とし、「生涯学習ネットワークの設備充実」、「学校教育の充実」、「青少年健全育成」、「文化づくりの推進」、「スポーツ・レクリエーションの振興」の5項目を政策に掲げ、それぞれ施策名として「生涯学習システムの推進」、「「生きる力」を生む学校教育の推進」、「学校施設の整備充実」、「健全育成支援体制の強化充実」、「歴史・伝統文化の振興」、「スポーツ・レクリエーションの推進」としております。

2 第1次南アルプス市総合計画 体系 (教育委員会関係抜粋)



3 教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価について

(1) 基本政策 : I. 情報と連携の都市づくり

- ①政策 : 04. 国際交流・地域間交流活動の推進
- ②施策名 : 06. 交流活動の推進

事務事業名	評点	評価の視点	所属
青少年国内交流事業(津別町)	3	H26年度は受け入れで津別町の小学生と、若草小学校児童と交流会を実施し、子どもたちとふれあいの時間を持つことができた。今後も継続していく。	生涯学習課
青少年国内交流・交流支援事業(小笠原村)	3	小笠原村へは中学生(17人/20人)が参加し、多くのことを吸収するとともに「島っ子」との親睦と小笠原村への理解を深めた。今後も参加者確保に努力していく。	
青少年国内交流・交流支援事業(穴水町)	3	穴水町へは小学生(19人/20人)が参加し、伝統的漁法の「ぼら待ちやぐら漁法」体験や、鋳物作り等貴重な体験で理解を深めた。今後も参加者確保に努力していく。	

(2) 基本政策 : IV. 快適で心のかよいあう都市づくり

- ①政策 : 17. 社会福祉の充実
- ②施策名 : 28. 児童福祉の充実

事務事業名	評点	評価の視点	所属
私立幼稚園就園奨励費支援事業	3	私立幼稚園に通園させている保護者のうち所得が条件に合う世帯に保育料の一部を補助する事業。予算執行率87.1%。適正に事務を執行した。今年度より子育て支援課へ事務が移管された。	教育総務課

(3) 基本政策 : V. 個性と文化を営む都市づくり

- ①政策 : 22. 生涯学習ネットワークの設備充実
- ②施策名 : 35. 生涯学習システムの推進

事務事業名	評点	評価の視点	所属
芦安高齢者コミュニティーセンター運営管理事業	4	本施設は芦安中央公民館としての位置づけである。伝統文化活動「夜叉神太鼓」の練習や高齢者おやつサービスでの利用が主である。施設利用者は対前年度比14%増となっている。	生涯学習課
八田高度農業情報センター運営管理事業	3	指定管理者制度により効率的な管理運営に努めた。	
市文化協会活動支援事業	3	桃源文化振興協会へ移管し、各地区の文化団体に補助金交付している。生涯にわたって学習活動を行っている割合は27.8%(H26年度)で1.3%の増加となっている。	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
桃源文化会館運営管理事業	3	指定管理者制度により効率的な管理運営に努めた。	生涯学習課
楡形西地区農村環境改善センター運営管理事業	3	指定管理者制度により効率的な管理運営に努めた。	
楡形北地区農村環境改善センター運営管理事業	3	指定管理者制度により効率的な管理運営に努めた。	
ふるさと天文館運営管理事業	4	ボランティアグループにより 50cm の望遠鏡を使って天体及び天文現象等の解説を実施。利用者の対前年比は 52%増となっている。	
白根コミュニティー館運営管理事業	3	予算執行率効率的な管理運営に努めた。今後も適正に管理運営を行っていく。	
甲西農村環境改善センター運営管理事業	3	効率的な管理運営に努めた。今後も適正に管理運営を行っていく。	
若草生涯学習センター運営管理事業	3	指定管理者制度により効率的な管理運営に努めた。	
南アルプス市働く婦人の家運営管理事業	4	指定管理者制度により効率的な管理運営に努めた。地区運営委員会が管理運営を行い、利用者は 6.4%の増加となった。	
豊文化教室運営管理事業	4	指定管理者制度により効率的な管理運営に努めた。陶芸文化の普及促進が図られ利用者の対前年度比は 3%増となった。	
生涯学習推進事業	4	市民の学習機会の充実を図り自主的な学習活動を支援する。講座 58 回、参加者数 1,014 名 対前年比 29%増。今後も要望が多い講座の実施を継続していく。	
社会教育関係団体活動支援事業	3	社会教育団体 23 団体に対し補助金を交付し、市民が積極的に教育活動に参画する事業で活動団体の増減なし。	
公民館運営管理事業	3	公民館館長、主事が中心となり各地区の公民館活動を実施し、市民の文化向上を図る。2,656 人参加 62%増 (H25 は大雪で分館祭り中止)	
桃源文化振興協会運営支援事業	3	桃源文化振興協会の人件費補助である。	
白根中央公民館運営管理事業	4	公民館館長、主事が中心となり各地区の公民館活動を実施し市民の文化向上を図る。1 講座 参加者数 25%増	
生涯学習指定管理施設等維持補修事業	3	生涯学習指定管理施設の緊急修繕の維持補修 修繕 9 箇所 9,813 千円	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
楯形生涯学習センター管理事業	3	H26年度より市の直営となり図書館で管理している。ホールの利用件数を成果指標とし達成度 110%。今後も環境美化や安全管理に努め、市民が利用しやすい運営をしていく。	市立図書館
八田ふれあい図書館維持管理事業	3	利用者が使いやすい環境整備を行った。開館日数を成果指標とし達成度 100%。平成 27 年度は閉架書庫の改修工事を実施し、資料の効率的な運用を図っていく。	
八田ふれあい図書館運営事業	4	特色ある「農業関係資料」の収集に努めた。成果指標であるレファレンス件数は達成度 295%。今後も利用者の求める情報の提供や市民の暮らしに役立つサービスを継続していく。	
八田ふれあい図書館資料提供事業	3	新聞コーナーでは購読している新聞が一目でわかるような工夫をした。成果指標である雑誌の貸出冊数は達成度 94%。今後も市民の暮らしに役立つ最新情報を提供していく。	
八田ふれあい図書館子どもの読書活動推進事業	3	「おはなし会 0.1.2」の開催回数を月 2 回に増やし参加者の増加を図った。成果指標である 18 歳以下の貸出点数は達成度 85%。今後も魅力ある事業を工夫し参加者の増加を図る。	
わかくさ図書館維持管理事業	3	図書館が狭いため、生涯学習センターの「児童ふれあい室」に幼児向けの本を置いている。成果指標である開館日数は達成度 100%。今後も効率的な資料の提供を工夫していく。	
わかくさ図書館運営事業	4	図書館内の展示方法を工夫し、効果的に利用者にもアピールした。成果指標であるレファレンス件数は達成度 129%。今後も市民の暮らしに役立つ情報やサービスの提供を継続していく。	
わかくさ図書館資料提供事業	3	パンフレットの整理やトピックスの提供など工夫を凝らした。成果指標である雑誌の貸出冊数は達成度 96%。今後も市民の必要とする最新情報提供のためのサービスを継続していく。	
わかくさ図書館子どもの読書活動推進事業	3	指定管理者との合同事業を年 1 回から 2 回に増やした。成果指標である 18 歳以下の貸出点数の達成度は 79%。今後も地域に根ざした子どもの読書活動の推進を図っていく。	
楯形図書館維持管理事業	4	閉架書庫の整理や学習席の増席を行い、効率的な利用を図った。成果指標の開館日数の達成度は 97%。今後も市民が安全に快適に利用できる環境を提供していく。	
楯形図書館維持管理事業	4	閉架書庫の整理や学習席の増席を行い、効率的な利用を図った。成果指標の開館日数の達成度は 97%。今後も市民が安全に快適に利用できる環境を提供していく。	
楯形図書館運営事業	4	レファレンスに対応できる体制を強化したことで、成果指標であるレファレンス件数は達成度 158%。今後も中央館としての資料の充実に努め、市民の必要とする情報を提供していく。	
楯形図書館資料提供事業	3	中央館として新聞 16 紙・雑誌 155 誌を購入し市民に提供している。成果指標である雑誌の貸出数は達成度 93%。今後も市民に最新情報を提供するため、サービスを継続していく。	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
図書館事務研修事業	4	図書館運営アドバイザーを招聘し研修会を実施した。成果指標である研修参加者数は達成度 100%。研修の成果を今後の図書館運営に反映させていく。	市立図書館
楡形図書館子どもの読書活動推進事業	4	保育所・児童館に出向いてのおはなし会を積極的に実施した。成果指標である 18 歳以下の貸出資料数は達成度 88%。今後も関係機関と連携し読書活動の推進を図っていく。	
図書館協議会運営事務	3	年 2 回の図書館協議会のほかに、県図書館大会にも参加した。成果指標である提言・意見等の答申の数は達成度 100%。今後も要望や意見を図書館運営に反映させていく。	
図書館システム管理事業	3	10 月に図書館システムの更新を実施し、11 月より新システムが稼動した。成果指標である資料貸出総数は達成度 93%。今後も安定的な環境を維持しシステムの運用を図っていく。	
図書館生涯学習推進事業	4	ボランティア養成講座では新しく「わらべうた」をとりあげた。成果指標である図書館事業の参加者数は達成度 103%。今後も市民のニーズに合わせた講座等を企画・周知していく。	
ブックスタート事業	4	健康増進課窓口にブックスタート資料を置き PR を図った。成果指標である「おはなし会 0.1.2」の参加者は達成度 128%と増えている。今後も健康増進課と協働しながら継続していく。	
図書館資料購入事業	3	選書会議を週 1 回行い、購入資料の検討をし購入している。成果指標である資料貸出総数は達成度 93%。今後も市民の暮らしに役立つ資料の収集を継続していく。	
芦安分館運営事業	4	地域のお祭りに参加し分館の PR をおこなっている。成果指標である資料予約件数は達成度 523%と目標を大幅に上回っている。今後も地域に密着したサービスを継続していく。	
芦安分館資料提供事業	3	利用者のニーズを把握しながら雑誌の選書をおこなっている。成果指標である雑誌の貸出数は達成度 94%。今後も地域住民の暮らしに役立つ資料の提供をしていく。	
芦安分館子どもの読書活動推進事業	4	秋のお楽しみ会では、小学生と高齢者の交流を図っている。成果指標である 18 歳以下の貸出点数は達成度 216%。今後も学校等と連携しながら読書活動の推進を図っていく。	
甲西図書館維持管理事業	4	床にカーペットを敷く工事をおこない、靴音が館内に響かないようにした。成果指標である開館日数は達成度 100%。今後も市民が快適に利用できる環境を提供していく。	
甲西図書館運営事業	4	本の特集コーナーや壁面掲示を工夫し、利用の促進を図った。成果指標であるレファレンス件数は達成度 549%。今後も PR を図り、市民の課題解決の支援を充実していく。	
甲西図書館資料提供事業	3	地域の新聞記事のスクラップを充実させ、レファレンスなどにも活用できるよう整理した。成果指標である雑誌の貸出冊数は達成度 74%。今後も市民に最新の情報を提供していく。	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
甲西図書館子どもの読書活動推進事業	3	児童館と連携し「春のおはなし会スペシャル」などをおこなっている。成果指標である18歳以下の貸出点数は達成度70%。今後も関係機関と連携を図りながら事業継続していく。	市立図書館
白根桃源図書館運営事業	4	展示や掲示を工夫し、広報活動を積極的におこなった。成果指標であるレファレンス件数は達成度216%。今後も図書館サービスの向上と市民への周知を図っていく。	
白根桃源図書館資料提供事業	3	受入雑誌の見直しや新聞の購入見直しをおこなった。成果指標である雑誌の貸出冊数は達成度96%。今後も市民に最新情報を提供するために、サービスを周知・継続していく。	
白根桃源図書館子どもの読書活動推進事業	3	隣接する児童館と連携しながらおはなし会を実施している。成果指標である18歳以下の貸出点数は達成度85%。今後も関係機関と連携し子どもの読書活動を推進していく。	
白根桃源美術館維持管理事業	3	美術館の環境を整備し、来館者が気持ちよく作品や施設（庭等）を観覧できるようにする。H25年度より市民ギャラリーとなり無人となったが良好に維持管理が行われている。	市立美術館
美術館企画展事業	3	市民が優れた作品を鑑賞できるように「竹田鎮三郎展」を開催した。質の高い芸術・文化に接することにより、芸術文化に興味を持ってもらう。入館者の増加を検討していく。	
春仙美術館常設展	3	春仙の作品を中心に同時代に活躍した作家や現代作家、山梨に縁のある作家の展示を行った。また、美術館に行きたいと思うような企画を行ってきた。今後も美術館に興味を持てるような事業を実施したい。	
春仙美術館維持管理事業	3	美術館の環境を整備し、来館者が気持ちよく作品や施設（庭等）を観覧できるようにする。また、収蔵作品がよい状態で保管できるように維持管理を行った。	

(4) 基本政策 : V. 個性と文化を営む都市づくり

①政策 : 23. 学校教育の充実

②施策名 : 36. 「生きる力」を生む学校教育の推進

事務事業名	評点	評価の視点	所属
教育長交際活動費	3	教育行政執行のために外部との交際上要する経費である。今後も内部基準に照らし厳正な執行のために管理していく。	教育総務課
教育委員活動事業	4	定例教育委員会の開催、学校訪問の実施や中北地区教育委員会連合会の研修事業などへ積極的に参加した。	
教育委員会事務局管理事務	4	経常的な事務の管理を行った。特に、コピー用紙、郵送に伴う経費の削減を目標とし、両面印刷や発送日を制限し通数をまとめ、郵送料割引制度を活用するなど経費の削減に努めた。	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
都市教育長協議会参画事業	3	全国都市と関東地区都市の教育長協議会総会へ参加し、研修等情報収集を行う。関東地区都市教育長協議会のみでの参加であった。	教育総務課
巨摩高校定時制教育振興会参画事業	3	本市のほか、富士川町、中央市や生徒の雇用主、同窓会等で組織され生徒の部活動や校外活動などの支援を目的に負担金を支出している。今後も適正に執行されるよう管理していく。	
学校給食費徴収事業	3	99.3%の収納率を成果の指標として、徴収率の向上を図ったが、徴収率は99.16%であった。今後は他市町村の徴収方法を参考に更なる徴収率の向上を目指す。	
学校給食費支援事業	3	小中学校へ3人以上の子どもが通っている保護者のうち80%に当たる250人の保護者への支給を成果の指標とした。申請者は257人、支給者は249人であった。学校との連絡を密に行い、申請漏れのないように努めたい。	
市単講師派遣事業	3	目的どおり市単講師34人の確保ができ、支援を必要としている児童生徒に対し、細かな指導ができた。更に教育の推進を図るには、市単講師の増員も検討課題である。	
司書臨時職員配置事業	3	目的どおり11人の臨時職員を配置して小中学校全てに司書を配置した。今後も現状を維持して図書教育の充実を図る。	
用務員臨時職員配置事業	3	目的どおり児童生徒が快適に学校生活を送ることができるよう各小中学校に用務員を配置した。今後も継続して配置し、教育環境を維持していく。	
学校図書館蔵書管理事業	3	予算執行率92.74%。学校図書館の蔵書、貸出、返却をシステムで管理。今後も学校図書館の有効活用を図るため継続していく。	
県中学校選手権大会及び県新人戦参画事業	3	県大会に参加する生徒の参加料を負担した。教育活動の一環としての事業でもあり、今後も継続の必要性がある。	
学事管理事務	3	予算執行率96.39%。教育環境を充実するための学校事務を行っているため、今後も継続していく必要がある。また、各学校間で予算計上している経費の一括計上を行い予算削減に努めていく。	
小林愛則育英奨学会支援事業	3	将来社会の中核となる人材を育成することを目的とし、高校3年間奨学金を給付。今年度高校卒業者は3人のうち、2人は大学へ進学し、1人は就職をした。今後も適正な給付に努める。	
芦安活性化対策育英奨学金貸付事業	3	芦安地区過疎対策事業。滞りなく、対象となる高校生の保護者の申請に対して奨学金を貸与した。H26年度の貸与者：4人今後も適正な貸与及び償還事務に努めていく。	
中学校準要保護就学援助事業（単独）	3	適正に処理をし、就学援助を必要とする生徒270人の家庭に対し経済的負担を軽減することができた。今後も適正に対応していく。	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
中学校関東大会・全国大会支援事業	3	関東、全国大会に出場する経費の一部を補助金として交付することにより、自己負担が少なく大会に出場できる。学校教育の一環であり今後も継続していく必要がある。	教育総務課
小林愛則育英奨学基金積立金	3	基金へ預金利子を積み立てた。今後も適正な執行に努める。	
若草学校給食センター給食事業	3	食文化の多様化による児童のアレルギー食の対応や、食育指導を行った。	
白根八田学校給食センター給食事業（学校給食）	3	食文化の多様化による児童のアレルギー食の対応や、食育指導を行った。	
芦安チロル学園運営費	3	施設維持管理に係る光熱水費は遅滞なく執行できた。H27年度より芦安支所の所管となった。	
小学校準要保護就学援助事業（単独）	3	適正に事務処理をし、就学援助を必要とする児童189人の家庭に対し経済的負担を軽減することができた。今後も現状維持で対応していく。	
小学校地域ふれあい道德教育推進事業	3	「心の教育の充実」を図るため、地域の人々のふれあいを中心とした道德教育に取り組んだ。今後も学校教育の充実を図る。	
中学校部活動コンクール・コンテスト参画事業	3	各種大会に参加するための負担金の支払いを行う。今後も現状を維持して、生徒の活動の場を広げていく。	
中学校ヘルメット購入支援事業	3	生徒の自転車通学の安全を図るため、ヘルメット購入代金の半額を補助。今後も継続して生徒の登下校時の安全を守る。	
中学校地域ふれあい道德教育推進事業	3	「心の教育の充実」を図るため、地域の人々のふれあいを中心とした道德教育に取り組んだ。今後も学校教育の充実を図る。	
南アルプス市奨学基金積立金	3	基金へ預金利子及び貸与者からの返還金を積み立てた。今後も適正な執行に努める。	
中巨摩学校給食調理員部会参画事業	3	調理員の資質の向上のため研修等を実施。全調理員が参加し、目標を達成できた。今後も全調理員が参加出来るようにしていく。	
南アルプス市奨学金貸与事業	3	申請により高校生及び大学生の保護者に対し要件審査を経て奨学金を貸与した。また、既存の貸与者に対しても、在学証明書の提出により継続審査を行った。現在、高校生2人、大学生32人の保護者に貸与している。今後も適正な事務の執行に務めていく。	
学校災害補償保険事業	3	学校施設の瑕疵等財物の滅失等の損害、学校管理下における児童生徒等の事故等の災害に対する保険に加入。適正に事務を執行した。	
若草南小学校情緒障害通級指導教室	3	情緒障害児を対象に音楽療法を行い、より良い発達につながっているため、今後も継続していく。	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
学校消火器管理事業	3	政令改正に伴い、対象の消火器を順次入れ替えた。今後も継続して入替えを行い、安全性の向上を図る。	教育総務課
給食用食器購入事業	3	給食用樹脂製食器を購入。予算執行率 100%。食器を購入したことにより、更に衛生性を保つことができ、また、食器から食べ物の剥がれがよく食べやすいとの意見が聞かれた。平成 26 年度のみ事業	
外国語指導助手配置管理事業	3	9 名の ALT を配置し、市内小中学校の英語指導、教職員研修の実施、また、市国際交流協会の事業への協力を行った。	南アルプス教育推進課
教育支援センター運営管理費	3	学校へ登校することが困難な生徒が学習支援を受け、教育相談を行いながら学校復帰を目指し取組んだ。教育相談には、臨床心理士が対応するようにし、保護者、教員との連携も図った。	
学びの質を高める授業づくり推進事業	4	指定校（若草中・白根百田小）を定め、児童生徒が、互いの考えや表現を聴き合い、学びあう授業づくりについて研究を行った。	
南アルプス自然体験推進事業	4	ユネスコスクールに認定されている芦安小中学校を指定校とし、南アルプスの自然を学ぶ体験活動を行った。	
いじめ・不登校未然防止推進事業	4	QU テストや心理プログラムを実施し、支援を必要とする児童生徒への早期対応を行った。いじめ、不登校件数も減少した。	
スクールガードリーダー事業	4	児童生徒が安心・安全に登下校できるよう、通学路や学校巡回、パトロールを実施し安全指導を行った。	
教育推進管理事務	3	指導主事が研修へ参加し、市内小中学校へ還流を行った。	
県都市指導主事会参画事業	3	指導監、指導主事が、研修へ参加し市内小中学校の教職員に対し、指導、助言を行った。	
南アルプス市学校応援団育成事業	3	各中学校区のコーディネーターを中心に、地域ボランティアを活用し学校での活動に取組んだ。	
南アルプス市姉妹都市国際交流プログラム推進事業	3	小学生の柔軟な時期に、英語を実際に使う体験活動を行い、英語に親しむことが目的の事業である。参加者は、昨年度より 30 名ほど増加した。	
芦安教育推進事業	3	芦安小中学校の特徴や取組を PR すること、また、英会話科の特別な消耗品の購入を行った。	
小中学校における小笠原流礼法推進事業	4	小笠原流礼法指導を行う師範を常勤で雇用し、小中学校で指導、教職員への研修等を行った。心の教育の充実を今後も図る。	
幼児期の運動促進に関する普及啓発事業	4	発達段階に応じて体を動かす遊びの提供、保育士対象の研修会、保護者・地域住民への啓発を行い、運動遊びを紹介する「プレイカード」を作成した。	
授業改善プラン実践事業	4	諸調査を通して実態を把握し、外部講師を招聘した校内研究会で課題解決に向けての手立てを探った。その研究会へ市内の先生方に参加を呼びかけ普及に努めた。	

(5) 基本政策 : V. 個性と文化を営む都市づくり

①政策 : 23. 学校教育の充実

②施策名 : 37. 学校施設の整備充実

事務事業名	評点	評価の視点	所属
中学校施設設備整備事業 (単独)	3	予算執行率 97.61%。学校からの修繕・改修要望に対し整備できた校舎、屋内運動場等の箇所数を成果指標としている。学校要望を精査し緊急度の高い施設から整備することができた。	教育総務課
小学校施設設備整備事業 (単独)	3	予算執行率 99.26%。学校からの修繕・改修要望に対し整備できた校舎、屋内運動場等の箇所数を成果指標としている。学校要望を精査し緊急度の高い施設から整備することができた。	
芦安学校給食センター維持管理事業	3	休止中の給食施設及び厨房備品の維持管理を行った。冬期のボイラー、水道等の凍結対策は職員が対応した。	
若草学校給食センター維持管理事業	3	学校給食を安心安全に児童に提供する給食施設及び厨房備品の維持管理を行った。厨房器機の故障などはすぐに業者発注するのではなく職員が修理を行ったり、他の給食施設からまわしてもらったりするなどして対応している。	
白根八田学校給食センター維持管理事業	3	学校給食を安心安全に児童に提供する給食施設及び厨房備品の維持管理を行った。厨房器機の故障などはすぐに業者発注するのではなく職員が修理を行ったり、他の給食施設からまわしてもらったりするなどして対応している。	
小学校管理費	3	予算執行率 88.16%。限られた予算の中で各学校の管理費を配分している。今後も予算を圧縮されるなか、必要な予算を確保できるよう検討していく。	
中学校管理費	3	予算執行率 100%。限られた予算の中で各学校の管理費を配分している。今後も予算を圧縮されるなか、必要な予算を確保できるよう検討していく。	
新学校給食センター建設事業	2	建設事業の延期により、目的を達成することができなかった。早期着工にむけ、安心安全な給食の提供ができる施設の建設を進めていく。	
小中学校清掃委託事業	3	入札により選定した業者に 22 校の校舎、体育館等の清掃を委託した。今後も北・南部エリアに分けて適正に実施していく。	
第二次小中学校教育系情報ネットワーク整備事業	3	校務を支援するシステムにより、教職員の事務効率の向上が図られた。今後もシステムを活用して事務の効率を図り、児童生徒と向き合う時間を確保していく。	
八田小学校校舎大規模改造事業	3	老朽化が著しい校舎（普通教室棟、特別教室棟、食堂棟）に対する大規模改造工事の進捗率を成果指標としている。H26 年度は実施設計を行い予定どおりの進捗率を得ることができた。	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
若草小学校屋外プール改築事業	3	老朽化が著しい屋外プール及びプール附属屋の改築工事の進捗率を成果指標としている。H26年度は、実施設計を行い予定どおりの進捗率を得ることができた。	教育総務課
空調設備設置事業(小学校施設)	3	市内小学校への空調設備設置工事の進捗率を成果指標としている。H26年度は、事前調査を行い予定どおりの進捗率を得ることができた。	
空調設備設置事業(中学校施設)	3	市内中学校への空調設備設置工事の進捗率を成果指標としている。H26年度は、事前調査及び実施設計を行い予定どおりの進捗率を得ることができた。	
白根飯野小学校非構造部材耐震化事業	3	国の基準に基づく、非構造部材の耐震化工事を予定どおり実施することができた。	
白根百田小学校非構造部材耐震化事業	3	国の基準に基づく、非構造部材の耐震化工事を予定どおり実施することができた。	
甲西中学校非構造部材耐震化事業	3	国の基準に基づく、非構造部材の耐震化工事を予定どおり実施することができた。	
小学校施設災害復旧事業	3	記録的な大雪により被害を受けた小学校施設に対し復旧工事を実施することができた。	
中学校施設災害復旧事業	3	記録的な大雪により被害を受けた中学校施設に対し復旧工事を実施することができた。	

(6) 基本政策 : V. 個性と文化を営む都市づくり

①政策 : 24. 青少年の健全育成

②施策名 : 38. 健全育成支援体制の強化充実

事務事業名	評点	評価の視点	所属
甲西子ども祭り運営事業	4	甲西ちっくい祭りと合同でふるさとまつりとして開催した。3,000人を超す来場者が参加して盛大なお祭りができた。	生涯学習課
若草三世代ふれあい祭り支援事業	3	しめ飾り作りや竹とんぼのほかクラフト工作など、もの作りを体験しながら地域の高齢者、保護者、子ども達が三世代のふれあいを深めた。全体で170人の参加があった。	
芦安子ども夏まつり支援事業	3	芦安小学校を会場として1泊2日で開催された。祭りの中で文化的遊びを通して、異年齢の仲間たちと交流を深め、大人と子ども、子ども同士の絆を深めた。	
青少年桃っ子祭り運営・支援事業	3	支部ごとに伝統的演技の発表を行う中で異年齢間の交流・親睦を深めることができた。また地域の大人や子どもが一緒になって舞台を創り上げる喜びを実感することができた。	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
楯形三世代ふれあい祭り支援事業	3	7月北地区、11月豊地区の2ヶ所で開催した。340人が参加し名称どおり、地域の方、役員、また親子など三世代がふれあい、青少年の健全育成の場づくりの一端を担うことができた。	生涯学習課
青少年育成カウンセラー設置事業	4	子どもたちへのあいさつや声かけは、健全育成に努め市内統一した事業とした。肯定的回答が68.9% (H26)、67.4% (H25)成果が現れている。(カウンセラーは5人体制)	
青少年育成推進会議運営事業	3	市から委嘱された推進員(112人)が青少年のための取り組みに参加している。また市民会議の専門委員会に所属し、青少年の健全育成運動を推進している。夏と冬に啓発チラシを作成し市内全域に新聞折り込みを行った。(20,500枚)	
ジュニアリーダー養成事業	3	地域の子どものリーダーとして活躍できる子どもたちを育成する。中学1,2年生が対象35人の申込があり延べ217人が参加、夏休みには小学6年生も参加して52人が宿泊研修会に参加した。	
成人式挙行事業	3	成人の門出を祝い大人としての自覚をもつ。成人者(12月末)848人中、参加者709人、参加率83.6% 今後も継続していく。	
市子どもクラブ指導者連絡協議会支援事業	3	会員相互の協力と子どもクラブ活動の活性化を図った。子どもクラブ(育成会)は、76支部あり各支部の指導者が中心なり、事業が行われている。今後も継続していく。	
青少年育成南アルプス市民会議支援事業	3	青少年健全育成に努め市民会議への補助を行う。H26年度に組織の見直しをして、統一化を図るための話し合いを重ねた。	
青少年育成地区市民会議支援事業	3	6地区の地区市民会議への補助 H26年度に見直し統一化に向けて話し合いを重ねた。今後は支部組織となる。	
県子どもクラブ安全会参画事業	3	子どもクラブ会員役員及び指導者の賠償責任保険で、H26年度の加入者数は76団体、7,505人。ほぼ横ばい 給付数は1件	
南アルプス市警察署管内少年補導員支援事業	3	少年の非行防止活動の推進、各種防犯団体等との連携を図った。青少年の犯罪・補導件数 H26年度 331人 補助額同額	
キッズタウン南アルプス支援事業	3	職業体験をベースとした青少年育成事業への補助金で、H26年度は実施していない。	
八田子ども綱引き大会支援事業	3	地域の異年齢の仲間や大人、親子の交流を深めることができた。また上位入賞チームは代表として県大会へ出場することで大きな目標を持ちまた貴重な経験に繋がっている。参加者は200人	

(7) 基本政策 : V. 個性と文化を営む都市づくり

①政策 : 25. 文化づくりの推進

②施策名 : 39. 歴史・伝統文化の振興

事務事業名	評点	評価の視点	所属
夜叉神太鼓保存会活動支援事業	3	地域の伝統芸能の保存と継承に努め地域の交流を深めた。会員数は前年度と同数で10人。	生涯学習課
甲州遠光太鼓保存会活動支援事業	3	地域の伝統芸能の保存と継承に努め地域の交流を深めた。会員数は前年度より1名増で15人	
長清太鼓保存会活動支援事業	3	地域の伝統芸能の保存と継承に努め地域の交流を深めた。会員数は前年度より1人減で11人	
小笠原長清公顕彰会活動支援事業	3	地域の伝統芸能の保存と継承に努め地域の交流を深めた。流鏝馬、礼法の講座を開催。礼法の参加者は前年度と同じ40名。	
西新居御崎神社神楽保存会活動支援事業	3	H26年度は活動休止中であつた。H27年度は活動を再開する予定である。	
文化財保護活用事業	4	伝統文化を次世代に伝えることは重要だと思つた市民の割合を指標とし、目標の40%に対し、回答は48.7%。今後も文化財を適切に維持管理及び保護保存していく。	文化財課
文化財教育普及事業	5	実施した講座等の回数、参加人数を指標とし、達成率は実施数274回144%、人数14,348人177%。学校等からのニーズは非常に旺盛であるが、今後は他部局との連携等を模索し、効率的な事業執行に努めていく。	
宝珠寺のマツ松くい虫防除支援事業	3	合併後同木が木勢を保つた年数を成果の指標とし、文化財所有者の行う薬剤散布等松くい虫防除事業の補助を行った。合併後11年間木の状態は良好に保たれている。今後も補助を行い、指定文化財を保護していく。	
鏡中条のゴヨウマツ松くい虫防除支援事業	3	合併後同木が木勢を保つた年数を成果の指標とし、文化財所有者の行う薬剤散布等松くい虫防除事業の補助を行った。合併後11年間木の状態は良好に保たれている。今後も補助を行い、指定文化財を保護していく。	
長谷寺の防災施設保守点検支援事業	3	合併後建造物が良好に維持された年数を成果の指標とし、文化財所有者へ文化財防災施設保守点検事業の補助を行った。合併後11年間建造物の状態は良好に保たれている。今後も補助を行い、指定文化財を保護していく。	
ふるさと文化伝承館(文化財調査事務所)維持管理事業	3	資料の適切な保管、入館者の安全な利用はできていたと考えられる。指標である市民アンケートでは目標の40%を下回つたが、前年度比103%と増加している。	
市内試掘確認調査事業	3	調査件数のうち遺跡の保護が図られた数を成果の指標とし、遺跡の保護を図つた。試掘数は26件、本調査数は2件。遺跡の有無を的確に確認し、適切に遺跡の保護を図っていく。	

事務事業名	評点	評価の視点	所属
国指定史跡「御勅使川旧堤防」整備事業	3	史跡のうち公有地化の図られた割合を成果の指標とし、民有地 3 筆のうち、1 筆の公有地化を測った。民有地は残り 2 筆。継続して公有地化を図り史跡の恒久的な保存と活用を進める。	文化財課
埋蔵文化財調査受託事業	3	埋蔵文化財が適切に保護された割合を指標とし、達成率は 100%。事業（特に民間開発に伴う）については、突発的に入ってくるものが多く、予定を立てづらいが、本年度もスムーズな事業執行を心がけていく。	
埋蔵文化財保存活用事業	3	事業の参加者数を指標とし 600 人目標のところ 597 人であり、ほぼ 100%である。また、当事業で作成したコンテンツの今年度の利用者数は 9,000 名であり、成果がみとめられる。より、埋蔵文化財の保護について理解を得られるよう活用事業を推進していく。	
安藤家住宅運営管理事業	3	文化活動で使用した人数を成果の指標とし、国重要文化財安藤家住宅の保護活用を図ってきた。H26 年度来館者数は 4,348 人だった。今後はさらに来館者数を増やしつつ、適切に文化財を運営・管理していく。	
安藤家住宅イベント開催事業	3	地域を知りふるさと意識や郷土愛を持っていると答えた市民の割合を成果の指標とし秋祭り他 15 回のイベントを開催し、開催期間中來館者は 3,138 人だった。今後もさらにイベント参加者数を増やしつつ、地域の交流の場として活用していく。	
ふるさと文化伝承館運営事業	3	入館者数は前年度比 110%と増加している。新たな指標である市民アンケートで文化財を大切と考える方の割合は 79.8%であった。入館者数は近年良好に増加しており、文化資源に対する理解の入り口として、より市民の理解を深められるような事業を展開していく。	
文化財教育普及看板設置事業	3	八田地区の 5 ヶ所の文化財案内看板の改修等を行った。予算執行率 99.4%。今後も老朽化した指定文化財案内看板を順次新しいものに取替え等行い、文化財の普及に努める。	
フィールドミュージアムふるさと学芸員育成事業	4	指標とした伝承館の入館者数は 7,028 人と達成率 109.8%、育成人数は 100%である。実際にイベントなどでの教育普及の実践も行っている。	
重要文化財木造浅間神像保存事業	3	H26・27 年度の 2 ヶ年事業。事業の進捗率を指標とした。H26 年度については遅滞なく事業を完了。当年度分の達成度は 100%。27 年度も予定通り事業を完了できるようすすめていく。	

(8) 基本政策 : V. 個性と文化を営む都市づくり

①政策 : 26. スポーツ・レクリエーションの振興

②施策名 : 40. スポーツ・レクリエーションの推進

事務事業名	評点	評価の視点	所属
小中学校ホッケー指導者派遣事業	3	白根地区の学校のための派遣である。今後は市内全域に拡大していきたい。部員数(中学校92人・小学校75人)。	生涯学習課
市ホッケー大会運営事業	3	6月の男女の優勝校は全国大会へ出場することとなる。小学校のホッケーの部員数(75人)	
全国スポ少ホッケー交流大会派遣・参画事業	3	市の特色あるスポーツとして全国大会への参加を行っている。	
桃源郷マラソン大会活動支援事業	3	市内外からの参加者が8,000人である。このところ参加者はほぼ横ばい状態である。既にマラソン大会は13回を数え定着している。今後も継続していく。	
スポーツ推進委員運営事業	3	市民が習慣化したスポーツ活動を行っている割合は、H25年度が31.3%でH26年度が35.7%であり増加傾向となっている。今後も継続していく。	
南アルプス市体育協会支援事業	4	市内の生涯スポーツの普及発展に努め、健康増進に努める。H25年度が31.3%でH26年度が35.7%であり増加傾向となっている。今後も継続していく。	
県外スポーツ大会出場支援事業	3	県内の大会で勝ち進み県外の大会に出場する団体が増加し大会参加費用も増加した。補助金の宿泊費の見直しを行った。今後も継続していく。	
スポーツ推進審議会運営事業	3	条例で定める諮問機関である。H26年度は、諮問事項が無く審議会は開催していない。	
南アルプス市ホームタウンゲームの活動支援事業	3	5月28日に「ヴァンフォーレ甲府」のホームゲームで本市のサンクスデーを実施した。特産品を配布しPRに努めた。今後も継続していく。	
スポーツ大会等保険加入事務	3	各種スポーツ教室等の傷害保険加入 これまで怪我や事故はないが安全への配慮を継続していく。	
社会体育施設維持管理事業	3	市民が安全で便利に体育施設を利用し年間を通じスポーツに親しむため、補修、修繕を実施。社会体育施設等の利用者数(583,232人)。	
社会体育施設指定管理事業	3	指定管理者に適正な管理運営を委託する事業、B&Gは利用者が増加している。指定管理施設の利用者数(94,927人)今後も継続する。	
各種スポーツ教室開催事業	3	市民が習慣化したスポーツ活動を行っている割合は、H25年度が31.3%でH26年度が35.7%であり増加傾向となっている。今後も継続していく。	